

第2号議案 中国ジェイアールバス広浜線の再編について

(1) 路線のフィーダー化及び広島交通への事業移管について

■ 再編の経緯・背景

バス事業は、利用者の減少や深刻な運転手不足により、全国的に非常に厳しい経営状況におかれている。本市北部においても、可部駅～都心間の路線の重複や、可部駅以北での需要に見合わない非効率な運行形態などの課題を抱え、路線の維持が危ぶまれる状況となっている。

こうした課題に対応し、バス路線を将来にわたり持続可能なものとするため、近隣市町から都心へ直通する長距離路線を可部駅等でフィーダー化することについて検討を行ってきた。

この度、現在、中国ジェイアールバス株が運行する広浜線について、関係市町及び事業者間の調整が調ったため、令和5年4月からフィーダー化を実施するものである。

当該路線は、現在、都心直通系統（大朝車庫～広島駅）と、フィーダー系統（大朝車庫～広島文教大学入口）が、それぞれ大型バスにより運行されており、北広島町大朝・千代田地区及び安佐北区鈴張・飯室地区の住民の通勤・通学や買い物等に利用されており、地域住民が日常生活を営む上で、路線の維持・存続は必要不可欠である。

このため、令和5年4月から、上記の系統を千代田地区～可部地区を結ぶフィーダー系統に再編するとともに、路線の運行を広島市北部エリアを拠点とする広島交通株に移管することにより、路線の維持・存続を図るものである。また、再編に伴い、路線名は広浜線から可部千代田線に変更することとしている。

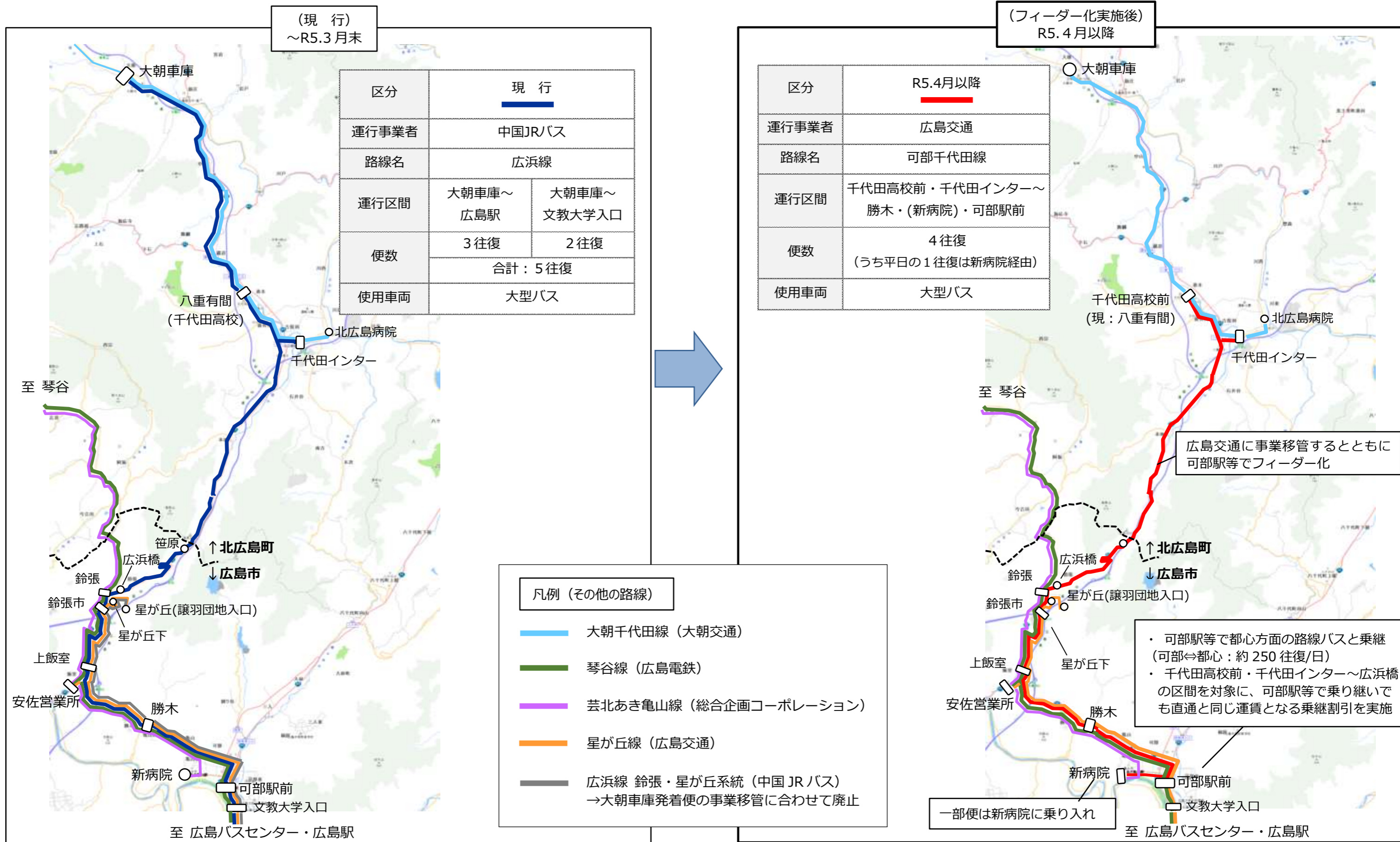
なお、本議案の内容について、北広島町においては、令和5年2月6日に開催予定の北広島町地域公共交通会議において審議を行う予定としている。

■ 事業計画案の策定に係る協議経緯

（令和3年10月～令和5年1月）

- ・ 広島市及び北広島町が主体となり、中国ジェイアールバス株及び広島交通株をはじめとした近隣エリアを運行する路線バス事業者と、広浜線の運行事業者、運行計画等についての協議を実施。
- ・ 協議の結果、本年4月から可部駅でフィーダー化するとともに、路線の運行を広島交通株に移管することとし、ルート・ダイヤ等の事業計画案を作成。
- ・ 再編後の事業計画案について、関係地区の自治会等への説明を実施。

■ 再編の概要図



■ 再編後の事業計画案について

運行を予定している乗合旅客自動車運送の事業計画は以下のとおり。

事業計画案							
名 称	可部千代田線						
運行事業者	広島交通株式会社						
運行系統・ 運行日等 (P.5-7 路線図 P.8 運行回数表 P.9-12 系統図 P.4,13-14 時刻表 を参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・運行系統 系統 57010：千代田高校前～千代田インター～可部駅前 系統 57020：千代田インター～可部駅前 系統 57030：千代田インター→勝木 系統 57040：千代田インター～北部医療センター～可部駅前 ・運行日等 						
	系統	57010	57020	57030	57040	便数計	
	運行日	毎日			平日(月～金) のみ		
	キロ程・ 所要時間(片道)	31.1km ・62分	28.1km ・55分	23.4km ・43分	31.7km ・65分		
	運行便数 (平日)	上り	2便	なし	1便	1便	4便
		下り	1便	2便	なし	1便	4便
	運行便数 (土日祝)	上り	2便	1便	1便	なし	4便
		下り	1便	3便	なし		4便
停留所数	69か所	58か所	47か所	68か所			
運 賃	<ul style="list-style-type: none"> ・大人運賃：P.15-16 運賃表参照 ・小児運賃：大人運賃の半額（端数は10円単位へ切上） ・運賃割引制度 PASPY 割引：最大10%割引（運賃額の端数は10円単位へ切上） 乗継割引：PASPY を利用して乗継利用した場合に、 2回目の乗車を20円引き 障害者割引：P.17 障害者割引運賃表参照 直通割引：特定の停留所※で都心方面の路線バスと乗継利用した場合 に、従来の広浜線で直通利用した場合と同じ運賃を適用。 ※可部駅前、可部上市、勝木(下りは下勝木)、飯室 						
使用車両(予定) (P.18 使用車両 の詳細を参照)	大型車両（乗車定員64人）、予備含め2台						